



第2期

世羅町観光振興

基本計画

概要版



世羅町

観光振興基本計画って？

計画策定の背景

国では…

国では訪日外国人旅行者数が増加し続け、2019年まで7年連続で過去最高を更新してきました。しかし、2020年以降、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、世界経済とともに国内の観光情勢も大幅に悪化しています。

県では…

広島県においても、国や市町と連携して観光キャンペーンを展開するなど、一時は回復傾向となった期間や地点はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響はいまだ収束とまでは至っておらず、観光分野の経済的な回復は見込んでいません。

世羅町では…

世羅町においては、「世羅町観光振興基本計画」に基づき、「1. つくる」「2. つなぐ」「3. つたえる」の3つの方向性に合わせた施策の展開により、観光客数の増加を目指してきました。

この度、新型コロナウイルス感染症による観光分野の落ち込みと、ニューノーマルを踏まえた近年の社会情勢を鑑み、世羅町観光の現状分析と課題の抽出を基に新たな世羅町観光の振興をより一層深めるため、「第2期世羅町観光振興基本計画」を策定します。



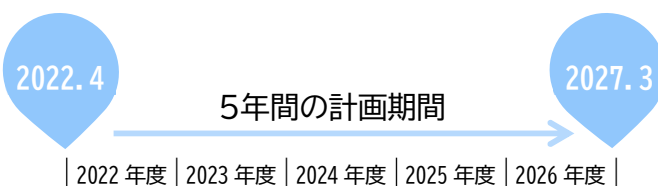
計画の位置付け

本計画は、本町におけるまちづくりの指針である「世羅町第2次長期総合計画」を上位計画とし、その中の産業分野における個別計画のひとつとして、観光による経済と地域の活性化を目指し、総合的かつ戦略的に推進するためのものです。

「世羅町第2次長期総合計画後期基本計画」では、令和7年度の観光消費額を“39億円”、入込観光客数を“222万人”と目標設定しており、本計画はその目標の実現に向けたアクションプランとしても位置付けます。

計画の期間

本計画は、2022年度から2026年度までの5年を対象期間とします。なお、近年の観光分野を含む社会情勢の急速な変化に合わせ、必要に応じた見直しを行いながら取組を進めていきます。



計画の基本方針

町全体がタスキでつながる 世界に誇る花景色とおもてなしのまち世羅

四季を彩る花観光と他の観光資源がつながることで、花観光をきっかけとして世羅町を訪れた観光客が様々な「世羅」を体験し、それぞれの世羅のお気に入りを見つけてもらい、それが再来訪につながるという好循環を生み出すことを目指します。

そのために、観光事業者、観光関連団体、観光協会、行政など観光に携わるすべての組織、人がタスキをつなぎ、チームとして一丸となって取り組んでいきます。



数値目標

総観光客数



基準値 (2019年)
※コロナ影響前

2,293,000 人

目標値 (2026年)

2,800,000 人

観光消費額



基準値 (2019年)
※コロナ影響前

2,652,000,000 円

目標値 (2026年)

4,200,000,000 円

コロナの影響によって減少した観光客をコロナ前に戻しつつ、新たなコンテンツの創出とともに閑散期の底上げを図ることで総観光客数 280 万人を目指します。

また、町内飲食店等での観光需要の増加に伴い、観光施設としての位置づけを整理することで、一人当たりの消費額を 1,500 円まで、総観光消費額を 42 億円まで引き上げます。

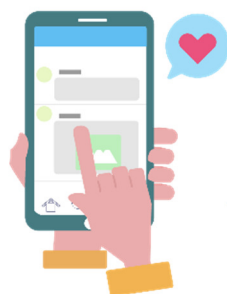
世羅町の観光の現状は？

世羅町観光の現状と課題

● 世羅町への誘客



統計調査



SNS 投稿分析

来訪者のほとんどが日帰り客

一人当たりの観光消費額は低め

コロナの影響により、県外からの来訪者は少なくなっている

県内市町から来るリピーター女性が多い

新規客もリピーターも満足度が高い

お土産を買って帰る人は少ない

花やフルーツなど映えるコンテンツが多く、カメラ女子人気が高い



来訪者アンケート

課題

- ・リピーターが多い反面、安定的に新規顧客を獲得していかなければ、入込客数の減衰を招く恐れがある
- ・県内客が多く、アクセスが良いという反面、近隣からの日帰り観光が主となっており、宿泊に係る消費が伸びにくいいため一人当たりの観光消費額が低い
- ・コロナの影響により県外からの来客が減少しており、特に消費額への影響が出ている

課題への対応策

- ✓ 県内の若い新規顧客へのアプローチ
- ✓ 県外客やインバウンドなど宿泊の見込めるターゲットの誘客



● 閑散期の底上げ



統計調査

春と秋は来訪者が多いが、冬や初夏は少ない

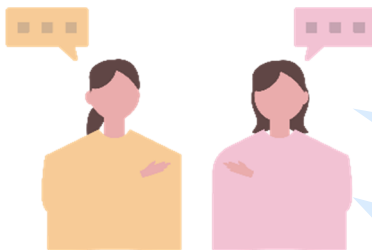
冬季のキャンドルナイトなど新しい取組は注目度が高い

ピーク時の土日祝日は町内施設や店舗がパンクするほどの集客がある

駅伝を冬季の集客要素にできないか



関係者ヒアリング



女子会ミーティング

他のコンテンツとコラボして新しい楽しみ方ができないか

推し活やグランピングなど、世羅要素も生かしつつ、新たなコンテンツを開拓したい

課題

- ・大型連休がない時期や、花や果物のオフシーズンとなる夏・冬は観光客数が減少する
- ・土日祝日と平日の来訪格差が大きく、格差解消や閑散期の底上げが必要
- ・事業者間連携について、相互の情報発信による方向性の統一や土産物を含む特産品と販売場所での連携など、町内の周遊を促し広く経済効果をもたらすための有効的な観光客の誘導が必要
- ・既存のコンテンツを活用しつつ、最新の流行や社会情勢に合わせた新しい観光コンテンツの創出が求められる

課題への対応策

- ✓ 閑散期の誘客に向けて、町内事業者共通の取組を実施するための事業者間連携の仕組みの構築
- ✓ 曜日限定、季節限定などその日にしかないコンテンツの造成及び情報発信

これから取り組む観光施策

方向性1 観光コンテンツの充実

1 既存コンテンツの磨き上げ

既にある様々な観光資源に関して、より観光客の満足度につなげられるよう、観光客のニーズを把握し、その結果に基づくサービスの改善・向上の取組を継続的に行います。また、イベント等においても、閑散期等の底上げを踏まえた企画や、町民及び近隣住民が楽しめる工夫の検討を行います。

- ① ニーズに応じた提供コンテンツの拡充 / ② 町内外の人が楽しめるイベントの強化

2 新たな観光商品・特産品の開発

世羅町を「訪れてみたい」と観光客の心に訴える世羅の地域イメージを確立し、誘客を図るため、花やフルーツ、特産品、駅伝などすでに浸透している世羅町のイメージに一層磨きをかけ、それらを組み合わせる新たなサービス・商品、イベント等の企画・開発を行います。

- ① 閑散期を底上げするための目玉商品の検討 / ② 既存コンテンツを生かした新たな商品の創出 / ③ 新たな食や土産物の開発



方向性2 受入体制・受入環境の整備

1 世羅町ワンチームでの受入体制の確立

町内の観光関係者や関係事業者等が一丸となって世羅町観光を推進していくために、定期的な情報共有やシーズン毎などでの町内統一テーマの検討といった、同じ方向を向いて進めるための仕組みを検討します。

- ① 組織連携による観光推進体制の確立 / ② 観光地や施設ごとの相互連携の充実

2 施設整備の充実

既存施設の整備や充実を図り、観光客に提供できるサービスの向上につなげるとともに、道路案内等の改善により、安全で快適な世羅町観光を実現します。

- ① 観光に関わる施設機能の充実や景観の維持・整備 / ② 案内看板や道路環境等の整備

3 観光の担い手確保・育成

訪れた観光客に「また来たい」「あの人を連れてきたい」と感じてもらえるよう、観光客を温かく迎え入れる町民の気運を高めるとともに、観光振興を支え、先導していただける人材や事業者の発掘及び育成を図ります。

- ① 町民のおもてなし力の向上 / ② 観光人材の育成



方向性3 情報発信の強化

1 独自の誘客戦略

世羅町への的確な観光誘客を図るため、各観光事業者の個々の情報発信力を強化するとともに、ターゲット毎に適した情報発信の手法や機能活用を展開します。

- ① 世羅町ファン（リピーター）に向けた観光動機付け / ② 若年層の新規ターゲットに向けた情報提供 /
- ③ 遠方や海外をターゲットとしたプロモーション強化

2 メディアや旅行エージェントとの連携

個別の情報発信には限界があるため、メディアや旅行エージェントといった外の媒体を持つ機関と連携し、効率的な情報発信を行います。各媒体に取り上げられやすいよう、新たなネタなど、展開の早い企画と情報提供に努めます。

- ① メディアを活用した情報発信 / ② エージェントとの連携によるツアー誘客



方向性4 周遊の仕組みづくり

1 せらめぐりの促進

世羅町の魅力を「見て」「食べて」「買って」「体験して」「泊まって」隅々まで満喫してもらうため、町内周遊を促進する仕掛けの充実を図ります。

- ① 町内周遊の仕組みづくり / ② 宿泊需要の喚起 / ③ 二次交通の整備

2 広域周遊観光の強化

観光客の多様な流れを生み出し、新たなターゲットや様々な条件での来訪目的を狙って、中国やまなみ街道等の広域交通網の活用や、インバウンド分野の受入強化など、より広域における観光客の獲得を目指します。

- ① 広域観光連携の推進 / ② インバウンド対応の強化

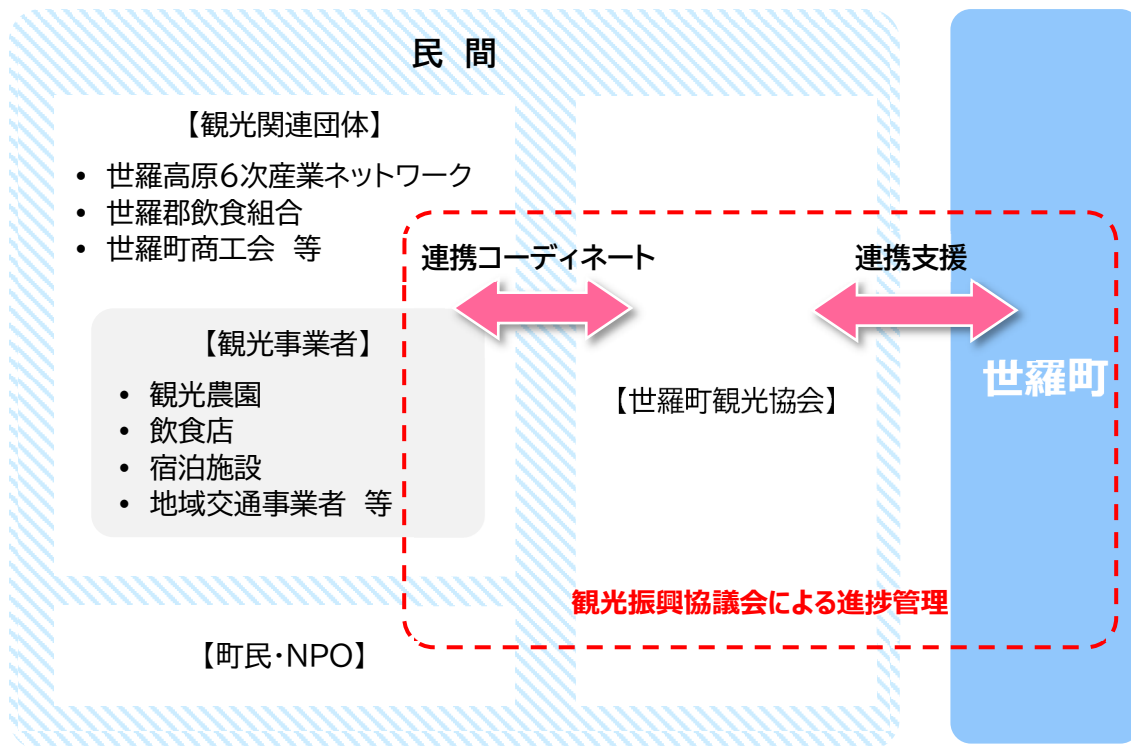


推進体制

本計画で設定した取組等を推進していくため、観光協会を観光プロモーションの実行、各観光関連団体や観光事業者等の連携・人材交流等のコーディネート役を担う観光に関する町の中心組織と位置づけ、世羅町からの支援や協力の下、機能強化や人材育成を推進します。

また、各観光関連団体や観光事業者は観光振興に係る事業主体としてサービスの向上に努めるとともに、観光協会を中心に連携を強め、事業ごとに横断的な組織を形成し、観光振興の取組を積極的に展開していくこととします。

さらに、計画を推進するにあたっては、町民やNPOなど、多様な主体の参画を促進し、各方面からの新たな視点を取り入れることで取組の改善へつなげるなど、町全体で観光振興を推進します。



第2次世羅町観光振興基本計画

【概要版】

(令和4年度～令和8年度)

世羅町 商工観光課

〒722-1192

世羅郡世羅町大字西上原 123 番地 1

Tel: 0847-22-3216